

# 2014（平成26）年度 方針と重点事業

私たちは、「市民が主体となり、誰もが幸せを感じられる社会をつくる」ことをミッションに掲げ、設立から10年、その実現のためにNPOや事業をどんどんつくり、資金やノウハウをぐるぐるまわしてきました。これまでに培ったものをさらに長く太く、ぐんぐん育て多くの共感を得ながら、その夢の実現を目指します。

## 1. 表彰制度の実施を通じ、他団体とのパートナーシップを構築する

「未来を拓く活動に光を当て、広く発信する」という方針のもと、「過去の実績」ではなく「未来志向」の観点から優れた活動を3団体表彰する「がっどぎっどぐっど賞」。市民がNPOの取り組む地域課題を当事者として受け止められるよう表彰制度のコンセプトをわかりやすく情報発信し、資金調達につなげる。

エントリーした団体へのヒアリングなどを通じ、新しい出会いをつくりながら、さらなるパートナーシップの構築をめざす。

## 2. 人材の発掘と活用のためのプログラム開発をおこなう

昨年度実施した「新潟県地域づくり担い手マッチング事業」（新潟県委託事業）でストックしている団体および個人（サポーター）の情報を利活用するとともに、自主事業である「ボランティア人材バンク」につなげる。また、「若者×NPO マッチングイベント」については、自主事業として準備しており、今後も継続した事業展開ができるよう事業計画と財源を同時に整える。こうしたプログラム開発により、NPOで活動する人材の発掘と活用をおこなう。

## 3. 過去の相談記録も分析し、研修プログラムの商品化につなげる

時代の変化と共に、NPOセクターが抱える課題や地域ニーズも変化しており、日々の「相談記録」がそれを物語っている。昨年からは実施している「NPO 役職員研修プログラム」のテーマは、この「相談記録」からニーズを分析し決定したものもあり、参加者の満足度につながっている。これを資源ととらえ、さらに利活用しながら、課題であった財源の安定的な確保を伴った商品化につなげる。

## 4. 「21.5 世紀キャラバン」の実施スケジュールと体制を見直し、行動につなげる

「多様な人々が集う議論の場の県域展開」として、目的と事業名は決定したが、そのためのスケジュールやモデルケースの選定については昨年度踏み出せなかった。この課題を解決するために、スケジュールと実施体制を見直し、行動につなげる。

## 5. 組織体制と事業内容・財政の一部見直しや整理を行う

認定NPOとして、さらなる理解者や支援者を増やすとともに、現在多様な事業を見直し、事業内容と財政の一部見直しや整理を行う。さらに、次期役員改選や事務局の新しい組織体制を構築し、活動基盤強化を目指す。そのために、昨年からは実施している「NPO 役職員研修プログラム」や過去に実施し内部共有に大変役立った「理事および職員の合宿」なども取り入れる。

## 平成26年度事業計画

新規	事業名	発注者	事業計画	担当
<b>(1) 調査研究事業</b>				
	NPO関連資料のファイリングとデータベース化	自主	新潟日報・読売新聞・毎日新聞・朝日新聞・日本経済新聞などから、NPOに関連する記事を抜き出しストック。サポートスタッフの協力を得て、当会に寄せられるチラシやパンフレットを分野別にファイリングし、事業実施の参考や相談対応などに活用。	全職員
○	都道府県、主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査	IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]	第1回調査の実施からちょうど10年となる今回の第5回調査では、前回の結果を受けて、環境(基盤)がどれだけ整備されているか、協働を促すために整備された環境(諸制度)が有効に活用されているか、といった従来の項目に加え、施行から10年を経た指定管理者制度がどのように改善されているか、また行政とNPO等の二者間の「協働」だけでなく、地域の多様なステークホルダーとの「総働」が求められる今後の「協働環境」の整備をどのように進めているのかについて、よりよい「協働環境」づくりに向けた課題を明らかにし、改善に貢献する。この調査における新潟県内1県5市(新潟県、新潟市、三条市、長岡市、上越市、佐渡市)への調査を実施する。10月27日(月)に、本調査結果を受け、新潟市内で報告会を開催する。	田村
<b>(2) 情報支援事業</b>				
	NPO図書館	自主	NPOに関する書籍・資料の閲覧・貸出しサービスを実施。 ■実施期間: 通年	田村
	「こいがたNPO情報ネット」の管理運営	新潟県 県民生活課 (新潟県NPO・地域づくり支援センター事業)	ウェブサイトによる情報提供とデータベース管理・運用、メールマガジンの発行実施。NPO運営のノウハウとして「こんな時、どうする?」のコーナーを連載。サイト利用を周知・促す目的で小人数の座談会を企画・実施。チラシの刷新。 Facebook、Twitter、Tumblrでの情報収集・共有・発信を行う。 ■こいがたNPO情報ネット: <a href="http://www.nponiigata.jp">http://www.nponiigata.jp</a> ■実施期間: 通年 ■アクセス数: 年間約18万件を目指す	尾崎 石本 田村
	「さんかくむすび」の管理運営	新潟県 県民生活課	「社会活動に興味はあるけれど、なかなか一歩が踏み出せない」という一般の方向けに、イベント情報、ボランティア募集情報を発信。CANPANでブログを行っているNPO団体へのサイト利用の紹介を実施。動画を使い、各団体のPRに活用・機能の周知。 Facebook、Twitter、Tumblrでの情報収集・共有・発信を行う。 ■さんかくむすび: <a href="https://www.sankakumusubi.jp/">https://www.sankakumusubi.jp/</a> ■実施期間: 通年 ■アクセス数: 年間約28万件を目指す	尾崎 石本 田村
	住みたい新潟・若者情報サポート事業	新潟県 県民生活課	新潟県出身で県外在住の若者を対象に、新潟の暮らしの魅力や住宅支援情報をポータルサイトと情報誌で発信。U・Iターンの促進をさらに図る。 ■PCサイト: <a href="http://www.niiget.jp">http://www.niiget.jp</a> ■携帯サイト: <a href="http://www.niiget.jp/m">http://www.niiget.jp/m</a> ■実施期間: 通年 ■アクセス数: 年間約400万件 ■情報誌発行部数: 年3回、各8,000部	小比田

新規	事業名	発注者	事業計画	担当
<b>(3) コーディネーション事業</b>				
	ボランティア人材バンク	自主	昨年度同様、担い手マッチング事業として広報し、昨年度の団体に対し内容の更新依頼などより積極的に活用して貰う。 新潟県社会活動参加促進ポータルサイト「さんかくむすび」を活用し、ボランティア募集として活用する。	大滝理事 小比田
	地域文化再発見・活用事業	新潟県 文化振興課	県内の地域文化情報を集積したポータルサイトの管理・運営。 ■新潟文化物語: http://www.n-story.jp/ ※平成26年度に行う新潟文化祭2014実施プロポーザルに新潟文化物語の新システム構築が含まれた。予定では11月にシステム構築が整うため、それ以降において、従来サーバと新サーバへの移行管理作業を並行して行う(～3/31)。同時に、管理手順の確立も行う ■従来サーバ管理:通年 ■特集:月1回 メールマガジン:週1回 ■アクセス数:年間約21万件	花岡
	NPO応援ローン	自主	新潟県労働金庫の融資制度「NPO応援ローン」について、円滑な事業運営を進めるため「公益審査委員会」の運営を担う。	富澤 田村
	トキをプロデュース ・野生復帰推進事業	新潟県 環境企画課	トキの野生復帰に向けた社会環境整備のため、新潟県の環境イメージを高めるとともに企業のCSR活動、学校や各種団体の環境保全活動のコーディネートを行う。 また、主に首都圏のマスコミ関係者などを対象に、佐渡の魅力やトキ及びトキ野生復帰活動に関する情報をツアーにして、提案する。	計良理事 中島 石本
○	JA佐渡:米国販売交流事業	自主	トキ・ブランドのお米を育てている農家の生活の営み、環境整備、伝統芸能などの情報を発信し、流通業者、消費者と生産者との交流のコーディネートを行う。	計良理事 中島
○	生涯学習成果活用促進事業	新潟県 生涯学習課	市民を対象にトキとの共生の理念の理解、環境整備の技術、安全管理など研修会の開催。	計良理事 中島
<b>(4) 人の支援事業</b>				
	新潟県地域づくり活動 担い手マッチング事業	新潟県 地域政策課 (新潟県NPO・地域づくり 支援センター事業)	地域活動団体(NPO、任意団体、地縁など)と個人とのマッチングを進める。団体や個人に事業を理解してもらうよう広報し、より多くのマッチングを生み出す。各地域で行われるイベントに「マッチング相談窓口」を出展し個人に直接対応していく。	小比田
	講師派遣	自主	NPOに関する講演、ワークショップ、会議出席等の依頼に対し、人員を派遣。 ■実施期間:通年	富澤
	がっとうぎとぐと賞表彰事業	自主	市民がもつ「未来を拓く力」に光を当て、さらに大きく育てるため、新潟をより幸せな社会へと変えていく可能性をもった活動やアイデアを募り、過去の実績ではなく、未来志向の観点から優れた取り組み称える賞の運営。	金子代表 富澤
	NPOの役職員のための研修事業	自主	NPOの理事及び職員向け研修プログラムの開発と実施を行う。 プログラム開発のために、まずは、新潟NPO協会の役員・職員向けに、研修を実施し、参加者ニーズの把握を行い、それを元に商品としての研修プログラムリストを作成する。	蛸原理事 富澤 田村
	若者×NPOマッチングイベント	自主	県内の高校生、大学生、専門学校生が、市民活動のイベント等の企画・運営に携わるきっかけをつくり、NPO活動を体験する場を提供する。また、県内で活動するNPOを学生が知り、活動に参加するきっかけとなるイベントを3箇所で開催する。	富澤 田村
	インターンシップ	自主	学生や企業、各自治体から申し込みのあったインターンの受け入れ。受け入れ人数、期間は、申込者の希望を優先。	小比田 石本
	地域づくり研修会「にいがた旬塾」	新潟ろうきん福 祉財団 (新潟県NPO・ 地域づくり支援 センター事業)	県内各地で地域おこしに関わる人々が、個々の活動現場で活かせる知識を得るとともに、地域づくり実践者同士の交流を通して視野を広げ、地域内における連携の促進やさらなる活動の活性化に資することを目的として県内5箇所で開催する	井上
○	地域づくり人材育成事業	魚沼地域振興 局	加速する少子高齢化や住民ニーズの多様化など社会情勢が大きく変化する中で、NPOと行政が協働で地域の課題解決に取り組む必要性が年々高まってきている。そこで、互いが相手の特性や役割を正しく理解し、地域づくりやまちづくりに対する知識を高め、地域全体を元気にすることを目的に3回程度の研修会を開催する。	吉崎理事 石本

【 事業計画 別表 】

新規	事業名	発注者	事業計画	担当
<b>(5) 場の提供事業</b>				
	にいがた21.5世紀キャラバン	自主	我々の行うべきミッションは「関係性のメンテナンス」であることを前提とし、そのうえで、県内各地域の中間支援やそれに準ずる団体が一堂またはブロック毎に集め、地域の課題解決を進める際の課題や意見の交換会を行う。その意見をもとに我々の役割とモデルケースとなる地域を決定していく。	吉崎理事 花岡
	市民活動博覧会「みんぱく」	自主	県内のNPO等の活動紹介や活動体験を通じて県民に社会活動への参加促進を高めるイベントを開催する。	富澤
	NPOなセレクトショップ ほわぎ	自主	NPOへの資金的支援および商品を通じた啓発を目的に、NPOが企画・開発した商品の販売やNPO関連書籍等の販売を行う。販売場所は事務所内、インターネット、主催および共催イベントなど。FBページの新設を実施。利用サイトの変更を検討・実施。 ■ほわぎ: <a href="http://www.howagi.net/">http://www.howagi.net/</a> ■携帯サイト: <a href="http://www.howagi.net/m/">http://www.howagi.net/m/</a>	石本 尾崎
<b>(6) 協働促進事業</b>				
	市民との協働による 自殺対策ネットワーク事業	自主	県内NPOのうち、心によりそう「人の支援」を行う団体を冊子で紹介するとともに、行政や企業、NPO、市民など、多様なセクターと共に勉強会を地域と回数を増やし実施。	齋藤理事 富澤
<b>(7) 政策提言</b>				
	政策提言	自主	引き続き必要な提言を行う。	富澤
<b>(8) 交流事業</b>				
	交流事業	自主	必要に応じて交流事業を行う。	富澤
<b>(9) 相談・サロン事業</b>				
	相談事業	新潟県 県民生活課 (新潟県NPO・地域づくり支援センター事業)	NPOの設立・運営、各種依頼(情報提供・照会・取材など)に引き続き、対応する。 ■実施期間: 通年	全職員
<b>(10) その他の事業：東日本大震災復興支援</b>				
	にいがた・第2のふるさとプロジェクト	自主 (新潟県NPO・地域づくり支援センター事業)	中・長期的に避難を余儀なくされた方に向けた疎開プロジェクトとして、引き続きブログにて物件情報や生活情報を紹介 物件、生活情報について、掲載継続確認調査とメンテナンスを随時行い、既存のウェブサイトへの誘導を行う。 ■ブログ: <a href="http://niigatafurusatopj.blogspot.com/">http://niigatafurusatopj.blogspot.com/</a>	花岡
	新潟市避難者交流拠点「ふりっふはうす」 運営事業	新潟県 (新潟市避難者支援協議会)	「ふりっふはうす」を軸とした、被災県からの自主、母子、強制避難者への情報提供、交流スペース等の提供を継続して行う	村上 江川 花岡
	県外自主避難者等への情報支援事業	(株)三菱総合研究所	県外自主避難者等への情報提供事業及び相談支援事業を行い、「避難生活」から「自立した生活」に移行できるような環境を支える 上記の目的のため次の2事業を行う ①情報提供事業: ニュースレター発行3回、説明会: 3回 ②相談支援事業: 随時	村上 江川 花岡

# 2014(平成26)年度 活動予算書(案)

自 2014年7月1日 至 2015年6月30日

特定非営利活動法人 新潟NPO協会

科 目 ・ 摘 要	2013年度決算	2014年度予算	増△減
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	535,000	800,000	265,000
賛助会員受取会費	253,000	700,000	447,000
小計	788,000	1,500,000	712,000
2. 受取寄付金	1,254,088	2,500,000	1,245,912
3. 受取助成金等			
受取助成金	2,086,000	2,500,000	414,000
受取補助金	11,484,000	500,000	△ 10,984,000
小計	13,570,000	3,000,000	△ 10,570,000
4. 事業収益			
(1) 調査研究事業	0	100,000	100,000
(2) 情報支援事業	7,949,009	8,000,000	50,991
(3) コーディネーション事業	5,217,840	6,000,000	782,160
(4) 人の支援事業	8,459,212	7,000,000	△ 1,459,212
(5) 場の提供事業	2,013,719	1,000,000	△ 1,013,719
(6) 協働促進事業	704,155	50,000	△ 654,155
(7) 政策提言事業	0	0	0
(8) 交流・イベント事業	0	300,000	300,000
(9) 相談・サロン事業	2,211,487	2,500,000	288,513
(10) その他事業	13,364,190	7,000,000	△ 6,364,190
小計	39,919,612	31,950,000	△ 7,969,612
5. その他収益			
受取利息	767	10,000	9,233
雑収益	92,831	100,000	7,169
小計	93,598	110,000	16,402
経常収益計	55,625,298	39,060,000	△ 16,565,298
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	19,111,359	19,000,000	△ 111,359
法定福利費	2,741,350	3,000,000	258,650
福利厚生費	0	0	0
人件費計	21,852,709	22,000,000	147,291
(2) その他経費			
仕入	138,495	150,000	11,505
支払報酬	2,288,832	2,000,000	△ 288,832
広告宣伝費	66,000	50,000	△ 16,000
業務委託費	14,935,089	3,000,000	△ 11,935,089
水道光熱費	678,136	500,000	△ 178,136
通信費	1,283,778	1,000,000	△ 283,778
旅費交通費	5,915,952	2,500,000	△ 3,415,952
支払手数料	66,488	50,000	△ 16,488
消耗品費	1,350,731	500,000	△ 850,731
印刷費	359,386	300,000	△ 59,386
支払保険料	365,879	100,000	△ 265,879
寄付金	300,000	300,000	0
家賃	987,694	800,000	△ 187,694
雑費	1,015,355	1,000,000	△ 15,355
その他経費計	29,751,815	12,250,000	△ 17,501,815
事業費計	51,604,524	34,250,000	△ 17,354,524
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	1,082,789	1,200,000	117,211
法定福利費	500,084	500,000	△ 84
福利厚生費	67,257	50,000	△ 17,257
人件費計	1,650,130	1,750,000	99,870
(2) その他経費			
支払報酬	61,600	50,000	△ 11,600
広告宣伝費	30,500	30,000	△ 500
広報関連費	5,400	50,000	44,600
水道光熱費	23,280	20,000	△ 3,280
通信費	93,265	50,000	△ 43,265
旅費交通費	385,949	400,000	14,051
支払手数料	6,385	20,000	13,615
研修費	121,426	100,000	△ 21,426
消耗品費	57,333	50,000	△ 7,333
印刷費	61,810	50,000	△ 11,810
支払保険料	120,813	100,000	△ 20,813
租税公課	5,250	3,000	△ 2,250
慶弔費	19,873	20,000	127
諸会費	135,000	130,000	△ 5,000
寄付金	6,000	5,000	△ 1,000
家賃	186,265	180,000	△ 6,265
減価償却費	4,079	0	△ 4,079
支払利息	23,769	30,000	6,231
消費税	1,069,200	1,000,000	△ 69,200
雑費	384,314	200,000	△ 184,314
予備費	0	100,000	100,000
その他経費計	2,801,511	2,588,000	△ 213,511
管理費計	4,451,641	4,338,000	△ 113,641
経常費用計	56,056,165	38,588,000	△ 17,468,165
当期経常増減額	△ 430,867	472,000	902,867
<b>III 経常外収益</b>			
1. 固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
<b>IV 経常外費用</b>			
1. 固定資産除・売却損	2,005	0	△ 2,005
経常外費用計	2,005	0	△ 2,005
税引前当期正味財産増減額	△ 432,872	472,000	904,872
法人税、住民税及び事業税	111,600	120,000	8,400
当期正味財産増減額	△ 544,472	352,000	896,472
前期繰越正味財産額	9,229,709	8,685,237	△ 544,472
次期繰越正味財産額	8,685,237	9,037,237	352,000